



2023.8.28



校長室から

No 8

始業式

二学期が始まりました。「暑さ寒さも彼岸まで」と言いますが、酷暑が続いています。さて、一学期に、外部の方からお褒めの言葉をいただく機会がありました。本校生徒の、判断力や行動力、決断力、なにより優しさを感じるできごとでしたので紹介します。

桜祭りの旅行者の方から

桜祭りに旅行に来られた旅行者の方が、夜道で困っているのに遭遇した本校の男子生徒2名が旅館まで送り届けてくれたとのこと。心細い中、高校生二人の暖かさに心を満たされて帰宅されたそうです。後日、校長宛てに、丁寧なお礼のお手紙をいただきました。

中学生の熱中症

7月19日、本校校外学習で訪れていた青森市の中学生が体調を崩した際のこと。体調の悪い中学生に気がついた本校の男子生徒2名が、熱中症を心配して中学生を介抱し、近くで水を購入して飲ませた上、中学校の引率教員に連絡を取ってくれました。中学校の校長先生から、「高校生の適切な判断で事なきを得ました。先生方が慌ててしまい、お名前を聞きそびれましたが確かに弘前中央高校の生徒さんでした。本当にありがとうございました」と、丁寧なお礼の電話をいただきました。

自転車を運んで

7月21日、市内の方の自転車の後輪が動かなくなりました。そのとき通りかかった本校男子生徒が後輪を持ち上げて自転車店まで長い距離を運んでくれたとのこと。後日、わざわざ学校にお礼を述べに、足を運んで下さいました。

いずれも、優しい気持ちを持っていることに加えて、周囲を見て困っている人に気がつく洞察力、そして高い判断力と行動力を表していると思います。この3件だけでなくたくさんの生徒が、優しい行動をとっていることと感じます。わざわざお礼の言葉を伝えて下さった方々にも、感謝しています。二学期も、ますます心を鍛え、行動できる中央高校でありたいものです。

(文責 齋藤 郁子)